



13

第13期 中間報告書

2008.10.1 - 2009.3.31

dwango

# dwango



代表取締役社長  
小林 宏

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第13期第2四半期（2008年10月から2009年3月まで）における業績の概況及び通期の見通しについてご報告いたします。

当第2四半期におきましては、モバイル事業において主に着うたフル<sup>®</sup>の会員数が堅調に推移し、またポータル事業においても「ニコニコ動画」のプレミアム会員数（有料会員数）が順調に推移し予想を上回る伸びを示したことなどにより、売上高は132億10百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

しかしながら、ゲーム事業において全般的な販売計画本数の未達、ポータル事業においては「ニコニコ動画」の広告収入等の計画未達により、会社計画を下回る結果となりました。

経費につきましては、着うた<sup>®</sup>・着うたフル<sup>®</sup>の利用増加により著作権使用料が増加いたしました。外注費など費用の効率化を図ったことによる圧縮、加えて広告宣伝費など一部経費が下半期にずれ込んだことにより減少いたしま

した。その結果、営業利益は4億12百万円（前年同期は32百万円の営業利益）、経常利益は3億89百万円（前年同期は60百万円の経常利益）となりました。

また、特別損失として、子会社における事業整理に伴う損失及びのれんを含む減損損失、ならびに投資有価証券の評価損等を計上したことにより、結果、2億18百万円の当四半期純利益（前年同期は4億93百万円の損失）となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、2008年11月13日付で公表いたしました連結業績予想及び個別業績予想から修正はございません。

モバイル事業とならび、当社の主要ビジネスとなるポータル事業の「ニコニコ動画」は、順調に会員数を伸ばして

おり、昨年11月には登録会員数1,000万人を突破、国内トップクラスのネットコミュニティサービスに成長し、メディアとしての認知度・価値共に向上しております。

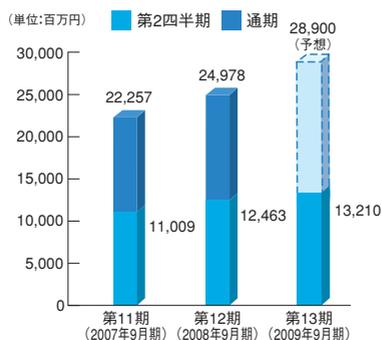
2つの重点戦略である収益化と一般化につきましては、まず収益化において、プレミアム会員(有料会員)入会導線の見直しや、人気サービスである「ニコニコ生放送」の実施などの施策により、プレミアム会員数(有料会員数)は、3月に30万人を超え、今期末の目標であった36万人は前倒しで達成する見込です。一方、広告収入につきましては、月々増加傾向にあるものの、昨今の経済情勢の影響を受けるなど計画未達となっております。新たな収益手段としては、4月より開始いたしました「ニコニコチャンネル」でのポイントシステムを利用した有料動画視聴など、新サービスを順次投入しております。

一般化につきましては、「ニコニコチャンネル」において、性別・年齢に拘らない様々なユーザの趣味・嗜好に対応するコンテンツの拡充を進めてきた結果、女性ユーザや30代以上のユーザが増加いたしました。今後も引き続き、さらなるサービスの充実とユーザ層の拡大を図ってまいります。

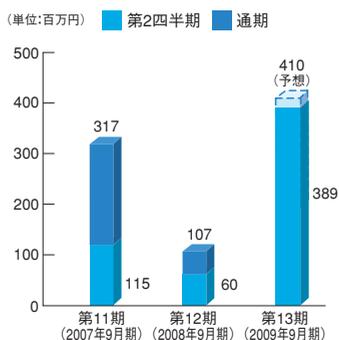
当社グループでは、モバイル事業及びポータル事業を中心に、様々なエンタテインメント系サービスを提供し続けることにより、今までにないビジネスチャンスの創出に努め、これにより総合エンタテインメントポータル化を目指してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解のうえご支援賜りますようお願い申し上げます。

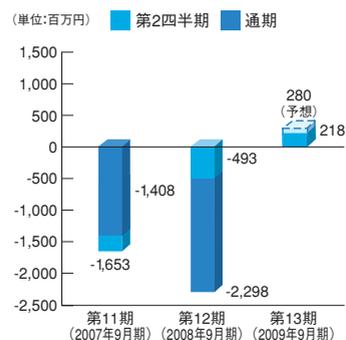
### 連結売上高



### 連結経常利益



### 連結四半期(当期)純利益





## 》》》 モバイル事業

モバイル事業におきましては、日々変化するユーザーニーズにいち早く対応し、多彩なラインナップの充実やさらなるサービス向上を継続してきました。

主力サイトである着うた<sup>®</sup>・着うたフル<sup>®</sup>サイトにおいて、人気アーティストや人気楽曲の権利獲得を積極的に行い、また、タイアップ企画などの施策により、会員数は堅

調な推移を見せています。

また、広告宣伝費を効果の高いものに絞り込み、外注費などの圧縮を積極的に行うなど、経費削減に努めました。

これらの取り組みにより、当第2四半期末の有料ユニークユーザー数<sup>\*1</sup>は385万1千人(前年同期比5万1千人増)、ARPU<sup>\*2</sup>は393円(前年同期比12円増)となりました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は87億81百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は22億38百万円(前年同期比40.1%増)となりました。

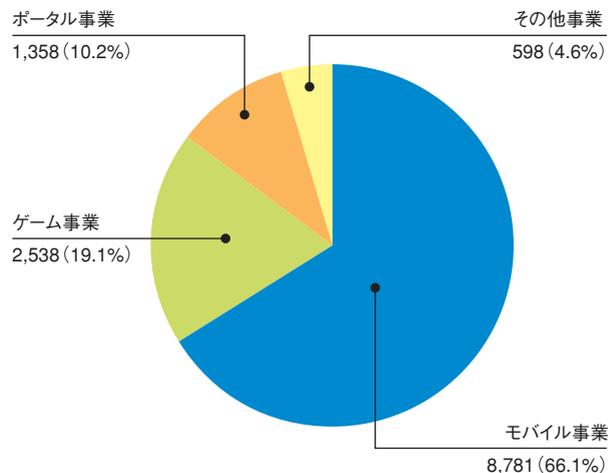
### ● ユニークユーザー数とARPUの推移



※1 有料ユニークユーザー数とは、ユーザーIDに基づきカウントする有料ユーザー数。延べ会員数ではなく、同一ユーザーが複数サイトへ加入している場合にも1人としてカウント。

※2 ARPU (Average Revenue Per User) とは、ユーザー1人当たりの月間売上高のこと。同一ユーザーの複数サイトへの加入状況を把握することで算出が可能となっております。顧客単価と同義。

### ● セグメント別売上高 (単位:百万円)



## 》》》 ゲーム事業

ゲーム事業におきましては、引き続き、あらゆるプラットフォームに自社ソフトを提供していくとともに、海外ソフトの権利取得による国内販売やネットワークゲームの提供などを実施しました。昨年11月に発売しました人気シリーズである「侍道3」や「喧嘩番長3」、2月に発売した「Midnight Club:Los Angeles」が売上に貢献しましたが、その他のタイトルが全般的に販売計画未達となりました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は25億38百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は4億73百万円(前年同期比89.5%増)となりました。

## 》》》 ポータル事業

ポータル事業におきましては、「ニコニコ動画」が順調に登録会員数を伸ばしています。昨年12月「ニコニコ動画(ββ)」にバージョンアップ後もさらなるサービス強化とメディアとしての認知向上に努めています。

現状の収益の柱は、プレミアム会員からの有料サービス収入、広告収入、アフィリエイト収入に加え、ポイントシステムを利用したポイント収入など、いずれも着実に売上貢献し始めてはいるものの、広告収入が計画上の大幅増とはいかず、「ai sp@ce」からのポイント収入も伸び悩み、また登録会員数の増加に伴う設備投資、回線費用及び開発費用の先行投資等により、未だ収益の貢献には至っていません。

以上の結果、ポータル事業の売上高は13億58百万円(前年同期比68.9%増)、営業損失は8億87百万円(前年同期は5億94百万円の営業損失)となりました。

## 》》》 その他事業

その他事業におきましては、アニメーション番組への出資による利益分配金や音楽出版などのアニメ関連事業売上や、ゲームソフト攻略本によるロイヤリティ収入等

が貢献しています。

しかしながら、アニメ関連事業の立ち上げに伴う先行投資等により、その他事業の売上高は5億98百万円(前年同期比29.1%減)、営業損失は49百万円(前年同期は15百万円の営業損失)となりました。

## 国内トップクラスのネットコミュニティサービスに成長

ニコニコ動画は、インターネット上の動画を見ながら、コメントを書き込むことができるサービスです。コメントはそのまま履歴として残り、その動画が再生されるたびに書き込んだときのタイミングで表示されます。視聴者は、動画への感想や意見を書き込んだり、また他の視聴者のコメントを見たりすることによって、まるで大勢と一緒に視聴しているかのような感覚で、盛り上がりを共有することができます。

このような独自性を強みに、他の動画サイトとは一線を画すニコニコ動画は、サービス開始時から多くの視聴者の支持を得て、成長を続けています。そして国内のエンタテインメント系サイトにおいて、1人当たりの平均利用時間が他の競合をおさえ、第1位<sup>(\*)</sup>となりました。

今後も企業理念である「ネットに生まれて、ネットにつながる。」のもと、ニコニコ動画を通じて生まれるカルチャーと、共有によってつながっていく人と人とのコミュニティを大切にしながら、新しいメディアとしてのさらなる発展を目指します。

※comScore社2009年2月調べ



## 国内ネット史上最速で会員数1,000万人突破！ 有料会員数も順調に推移

幅広い層へ向けたコンテンツ及びサービスの充実と、サイト登録への効率的な誘導を図った結果、昨年11月には登録会員数が1,000万人(4月末→1,227万人)を突破。さらに有料会員数(プレミアム会員数)<sup>\*</sup>は30万人(4月末→32万9千人)、携帯でも楽しめる「ニコニコ動画モバイル」の会員数は300万人(4月末→350万人)を超え、引き続き順調に伸びています。



<sup>\*</sup>有料会員(プレミアム会員)とは・・・専用サーバにより高画質でスムーズな動画を見ることができたり、人数限定の生放送を優先的に視聴できたりするほか、ニコニコ動画をより楽しめる様々なオプション機能を提供/月額525円(税込)または、チケット課金1,680円(税込・90日間有効)



## ニコニコチャンネルで一般化が加速

昨年12月に開設したニコニコチャンネルは、企業、政党、テレビ局、音楽事務所などの協業による公式の動画チャンネルです。現在150以上あるチャンネルは、幅広いジャンルと豊富なラインナップであらゆる層のユーザ獲得に貢献、メディア媒体としての認知及び価値向上を目指します。また、現在30以上の有料チャンネルによる収益化に取り組んでいます。

主なコンテンツホルダー	政治	自由民主党、民主党、日本共産党、社民党	ゲーム	ソニー・コンピュータエンタテインメント
	企業	アディダスジャパン、フェラーリ、東芝、タニタ	アニメ	円谷プロダクション
	教育	帝京大学、嘉悦大学	お笑い	よしもとファンダンゴ、松竹芸能
	テレビ・メディア	NHK、毎日放送、ディスカバリー・ジャパン	バラエティ	USEN、マイクロソフト
	地域	徳島新聞社、佐賀新聞社	映画・ドラマ	東宝東和
	音楽	ビクターエンタテインメント、コロムビアミュージック	アイドル	秋元康事務所
	スポーツ	スカパー・ブロードキャスティング		…他、全150チャンネル以上

## 6社共同広告『JXMN』の展開

国内主要サイトを運営する6社（NTTレゾナント、マイクロソフト、NTTコミュニケーションズ、NTTぷらら、ソネットエンタテインメント、ニワンゴ）が業界最大規模となるサイト連合を結成しました。4月より、各サイトのトップページに共通の広告が同時掲載されるメディアネットワーク広告を展開し、幅広い分野の広告主の獲得と共に、企業ブランドのイメージ向上を目指します。

<JXMN- Japan X-media-network->



例えば、出稿されたA社広告が6社サイトに同時掲載



## ニコニコ生放送による有料会員の増加

著名人や政治家のトーク、話題のアーティストのライブ、スポーツ試合などをニコニコ動画にて生放送します。同時時間帯に次々と書き込まれるコメントを通じて、1人でパソコンに向かっていながらも、大勢で一緒に見ているかのような一体感が盛り上がりやすい。2万人限定視聴のため、有料会員\*獲得にも貢献しています。また、有料会員が自ら生放送を配信できる「ユーザー生放送」も好調で、現在400まで同時に利用できる放送枠は、ピーク時には予約待ちが出るほどの人気となっています。



「緊急特番～フィリップ・トルシエ氏ドワンゴ経営会議ジャック!!～」より(4月放送)



## ■ 四半期連結貸借対照表

[ご参考]

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2009年3月31日現在)	前第2四半期 (2008年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	15,423,005	18,693,742
現金及び預金	6,401,869	5,220,543
受取手形及び売掛金	5,273,384	5,531,341
有価証券	2,801,281	6,452,902
たな卸資産	372,188	131,900
その他	574,281	1,357,053
固定資産	5,805,019	6,112,315
有形固定資産	1,661,794	1,470,274
無形固定資産	1,075,399	1,019,042
投資その他の資産	3,067,825	3,622,998
投資有価証券	2,456,511	2,618,679
その他	611,313	1,004,318
資産合計	21,228,024	24,806,057

### 当冊子の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、下記を取り決めました。

- 収益関連数値については、当連結会計年度期初からの「累計値」を用いています。
- 当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期(中間期)については「前第2四半期」と記述しています。

[ご参考]

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2009年3月31日現在)	前第2四半期 (2008年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	5,206,368	5,234,482
支払手形及び買掛金	1,726,958	1,404,152
短期借入金	700,000	700,000
未払法人税等	37,068	307,168
賞与引当金	347,688	299,146
その他引当金	30,585	73,058
その他	2,364,067	2,450,956
固定負債	26,287	16,553
負債合計	5,232,655	5,251,036
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	15,325,639	18,780,751
資本金	10,072,922	10,069,622
資本剰余金	9,777,276	11,720,145
利益剰余金	△ 3,045,311	△ 1,458,579
自己株式	△ 1,479,247	△ 1,550,437
評価・換算差額等	△ 14,930	16,596
少数株主持分	684,658	757,672
純資産合計	15,995,368	19,555,021
負債、純資産合計	21,228,024	24,806,057

## ■ 四半期連結損益計算書

[ご参考] (単位:千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2008年10月1日 至 2009年3月31日)	前第2四半期 (自 2007年10月1日 至 2008年3月31日)
売上高	13,210,808	12,463,469
売上原価	7,514,325	6,991,012
売上総利益	5,696,483	5,472,456
販売費及び一般管理費	5,283,931	5,439,878
営業利益	412,551	32,578
営業外収益	50,838	43,465
営業外費用	73,966	15,406
経常利益	389,423	60,636
特別利益	14,491	1,908
特別損失	92,964	432,925
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	310,950	△ 370,380
法人税、住民税及び事業税	74,581	141,827
過年度法人税等戻入額	△ 111,902	—
法人税等調整額	131,202	31,784
少数株主損失	1,387	50,700
四半期純利益又は四半期純損失(△)	218,456	△ 493,291

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[ご参考] (単位:千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2008年10月1日 至 2009年3月31日)	前第2四半期 (自 2007年10月1日 至 2008年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,154,946	574,626
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,580,496	△ 887,224
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,043,864	△ 111,676
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 2,141	△ 2,064
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 2,471,555	△ 426,339
現金及び現金同等物の 期首残高	11,674,706	12,076,886
現金及び現金同等物の 四半期末残高	9,203,150	11,650,547

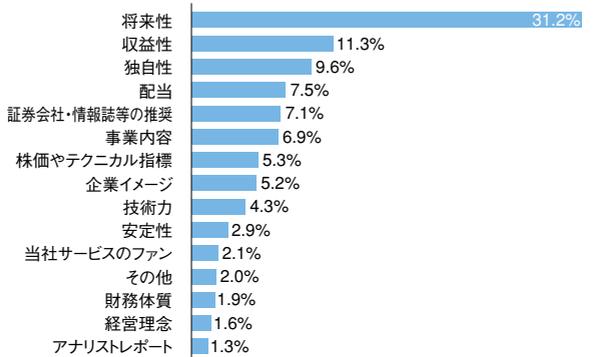


# 「株主様アンケート」集計結果のご報告 | Questionnaire Result

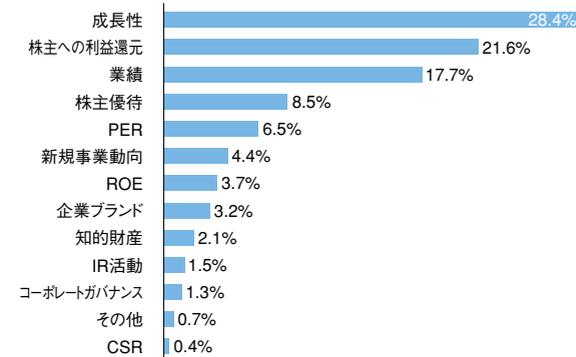
第12期定時株主総会決議ご通知に同封の「株主様アンケート」につきましては、数多くの株主様からご返信をいただき、誠にありがとうございました。簡単ではありますが、集計結果をご報告申し上げます。■ 当社からの送付数：15,434名様 ■ 株主様からのご返送数：786名様

当社株式の保有期間	6ヶ月未満	14.9%	6ヶ月～1年未満	32.4%	1～3年未満	29.3%
	3～5年未満	13.0%	5年以上	7.8%	上場時から	2.5%

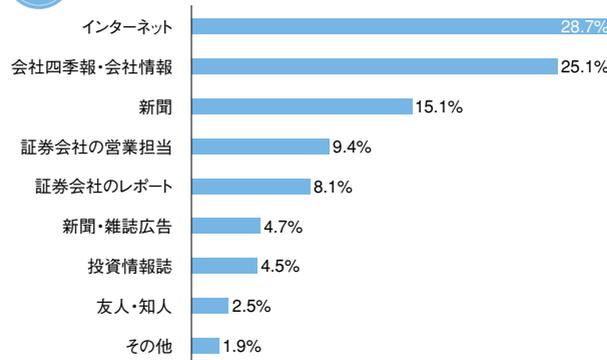
## Q1 当社株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答可)



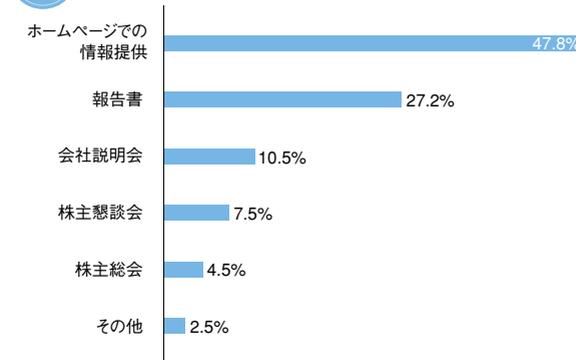
## Q2 企業を評価するに際し、重視される項目は何でしょうか。(複数回答可)



## Q3 投資情報はどのようにして入手されますか。(複数回答可)



## Q4 当社のIR活動について、特に充実を希望されることは何でしょうか。(複数回答可)



■ 当社といたしましては、「株主様アンケート」の結果を踏まえ、今後のIR活動の参考とさせていただきます。



## 株式の状況 (2009年3月31日現在)

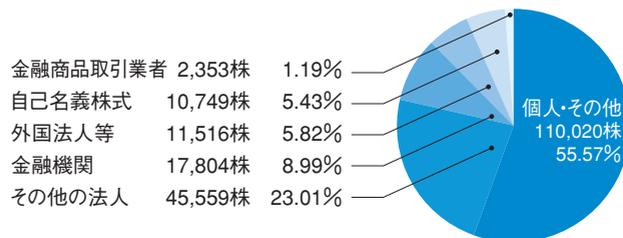
発行可能株式総数	528,000株
発行済株式総数	198,001株
株主数	13,796名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エイバックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.65
川上 量生	36,395	18.38
森 栄樹	10,100	5.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,661	3.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 4G)	5,199	2.62
太田 豊紀	4,750	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,753	1.39
有限会社パーセント	2,215	1.11
バンクオブニューヨーク・シーエムクライアントアカウント ジェイビーアールディアイエスジーエフイーエイシー	1,994	1.00
小林 宏	1,960	0.98

※上記の他に、自己株式10,749株を保有

## 所有者別株式数比率



## 会社概要 (2009年3月31日現在)

設立年月日	1997年8月6日
本社所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
資本金	100億7,292万円
従業員数	単体 410名 連結 713名
事業内容	次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツ及びシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング

役員	代表取締役会長	川上 量生
	代表取締役社長	小林 宏
	取締役副社長	太田 豊紀
	取締役	松本 康一郎
	取締役	夏野 剛
	取締役	麻生 巖
	取締役	荒木 隆司
	監査役(常勤)	小池 哲
	監査役	佐藤 辰男
	監査役	鈴木 祐一
	監査役	永野 明

子会社	株式会社ダウンゴ・ミュージックパブリッシング
	株式会社ダウンゴブランニング アンド ティベロップメント
	株式会社ダウンゴ・エージョー・エンタテインメント
	株式会社ニワンゴ
	株式会社スカイスクレイパー
	株式会社モバイルコンテンツ
	株式会社ゲームズアリーナ
	株式会社チュンソフト
	株式会社スパイク
	株式会社ティーアンドイーソフト
	多玩國股份有限公司(台湾 台北市)
関連会社	株式会社AG-ONE
	株式会社魔法のiらんど

## IRカレンダー(予定) ※日程の詳細は、当社ホームページに随時掲載いたします。

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	通期 決算発表	株主総会 期末報告書 配布		第1四半期 決算発表			第2四半期 決算発表	中間報告書 配布		第3四半期 決算発表	

### 株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日

定時株主総会 毎年12月

期末配当基準日 9月30日

※その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

公告方法 電子公告により行う

公告掲載 URL <http://info.dwango.co.jp/ir/>

※なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人

特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同 連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL:0120-232-711

上場証券取引所 東京証券取引所

#### ■ ご注意

- ① 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ② 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- ③ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 当社ホームページのご紹介

ホームページのIR情報サイトでは、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しています。

 <http://info.dwango.co.jp/>

 <http://info.dwango.co.jp/>

またはこちら▶



#### ■ メールニュース(無料)

IR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。パソコンのEメールアドレスをお持ちであれば、どなたでも登録いただけます。

▼  
ホームページ「IR情報」サイト

▼  
「メールニュース」からご登録



# dwango

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル

TEL:03-3664-5477 FAX:03-3664-5478 E-mail: [ir@dwango.co.jp](mailto:ir@dwango.co.jp) URL: <http://info.dwango.co.jp/>